

YAMAHA

小型除雪機



取扱説明書

YT1080E

YT1290E

ご使用前に、かならず取扱説明書・本体ラベルをお読みになり、内容を理解してからお使いください。

332085

7RX-28199-00

おねがい

ヤマハ商品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、商品の安全性に関する情報および商品の正しい取り扱い方法と簡単な点検・調整について記載してあります。

万一、取り扱いを誤ると重大な事故や故障の原因となります。
あなた自身の安全と環境や住民の方との調和の為に、また商品の性能を十分に発揮させるために、商品の取り扱いを十分ご存じの方も、この商品独自の装備、取り扱いがありますので、ご使用される前に必ず本書を最後までお読みいただき、またご使用時には携帯し、安全に商品をご使用くださいますようお願い申し上げます。

* 本書では正しい取り扱いおよび点検・調整に関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 安全に係る注意情報を意味しています。

⚠ 危険

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性がある場合を示してあります。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、障害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点

正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示してあります。

- * 仕様変更などにより、本書の写真や内容が一部実機と異なる場合があります。ご了承ください。
- * 本書は大切に保管し、本機の転売や譲渡等をされる場合は必ず添付してください。
- * 将来、廃棄される場合及びバッテリー、廃油等の廃棄処理をされるときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。
- * ヤマハ商品には保証書をおつけしています。
保証書はよくお読みいただき裏面の販売店・捺印をご確認のうえ、大切に保存してください。

ご不明な点や不具合なところがありましたら、お早目にお買いあげのヤマハ販売店にご相談又はお申しつけください。

ヤマハ販売店では、お客様の良きアドバイザーとしてご来店をお待ち申し上げております。

目次

△安全にお使いいただくために.....P1	正しい運転方法.....P19
● 運転前には.....P1	● エンジンの始動.....P19
● 運転中には.....P2	● 除雪作業をするとき.....P21
● 保管のときは.....P4	● 移動をするとき.....P23
△重要ラベル.....P5	● エンジンの停止.....P24
● △危険ラベル.....P5, 6	やさしい点検と整備.....P26
● △警告ラベル.....P5	● 始業点検.....P26
● △注意ラベル.....P5, 6	● 定期点検.....P26
各部の名称.....P7	● 点検項目.....P27
始動する前に点検しましょう.....P8	● 点検・交換・調整.....P29
● 燃料(ガソリン)の点検.....P8	● エンジンオイルの交換.....P29
● エンジンオイルの点検.....P9	● 変速機(H.S.T)オイルの補給.....P30
● 変速機(H.S.T)オイルの点検.....P10	● ウォームケースオイルの交換.....P31
各部の取り扱い.....P11	● ミッションオイルの交換.....P32
● メインスイッチ.....P11	● スパークプラグの点検・清掃.....P33
● 燃料コック.....P11	● フューエルストレーナの清掃.....P34
● ヒューズ.....P12	● スキッド(そり)の調整.....P35
● スロットルレバー.....P12	● シャーボルトの交換.....P35
● チョークレバー.....P12	● スクレーパの調整.....P36
● 変速レバー.....P13	● トラック(クローラ)の張りの点検・調整.....P37
● シャーボルト.....P13	● バッテリー液量の点検.....P38
● クラッチレバー.....P14	● ヒューズの交換.....P39
● シュータ方向調整スイッチ.....P15	● 各部の給油.....P39
● シュータデフレクタ調整レバー.....P15	長期格納.....P40
● オーガチルトレバー.....P15	仕様諸元.....P41
● スキッド(そり).....P16	お客様ご相談窓口.....P43
● スクレーパ.....P16	索引(さくいん).....巻末
● サイドクラッチレバー.....P16	
● スノーバー(雪かき棒).....P17	
● 作業灯.....P17	

⚠ 安全にお使いいただくために

● 運転前には

- 1 ご使用前に必ず取扱説明書及び本機に貼付しているラベル類をお読みいただき、正しい操作方法をよくご理解ください。子供や操作方法を知らない人に操作させないでください。



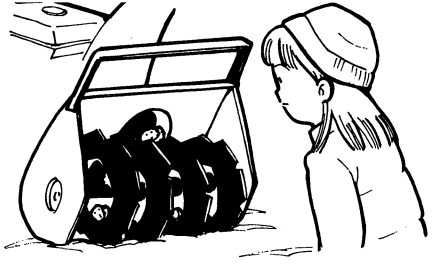
- 4 燃料の補給は屋外でエンジンが停止していることを確認してから行なってください。補給後はタンクキャップをしっかりとめてください。こぼれた燃料はふきとってください。火気厳禁



- 2 除雪場所に人・幼児・子供及びペット等を入れないでください。また除雪前に木片・缶・ホース線材・ナワ及びその他の異物をすべて除去してください。



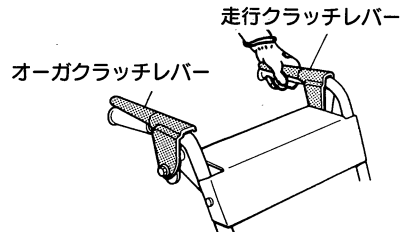
- 5 使用前にオーガ・フロアハウジング及びシュータに異物がないか確認してください。



- 3 本機を取り扱うときはいつでもすべりにくいはきもの・防寒服・手袋を着用してください。

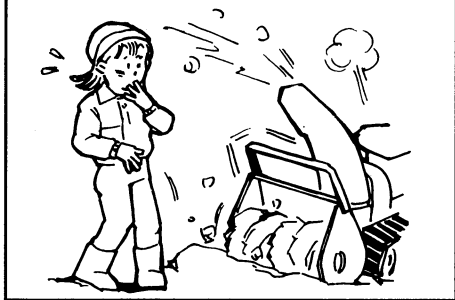


- 6 エンジン始動後、オーガ、走行クラッチレバーを離したときにオーガの回転と除雪機の走行が停止するか確認してください。



●運転中には

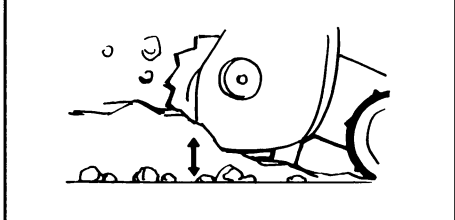
- 1 回転している部分の近くをのぞいたり手や足を入れないでください。



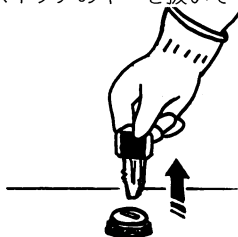
- 4 除雪機から異常な振動・音・においがしはじめた時はエンジンを停止し原因を調べてください。



- 2 砂利のある除雪場所を除雪するときは、スキッドはいっぱいに下げて砂利を飛ばさないように注意して運転してください。



- 5 除雪機からはなれる時、除雪部の障害物を除去する時、修理・点検・調整を行なう場合等はエンジンを停止しメインスイッチのキーを抜いてください。



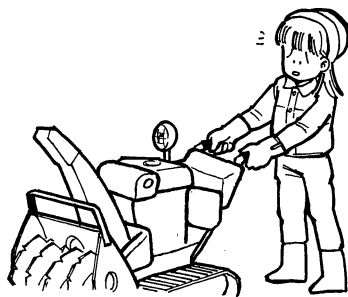
- 3 除雪部に異物が当たったり巻きついた時はすぐにエンジンを停止し異物を取り除いてください。除雪機に損傷がないか点検し、ある場合は完全に修理した後、使用してください。



- 6 除雪機を移動させる以外は、エンジンを屋内で始動させないでください。移動の時も排気ガスは有害なので扉を開け十分な換気を行なってください。

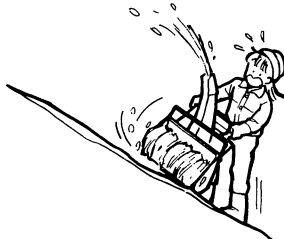


7 ガード及びカバー等を外した状態でエンジンを始動させないでください。

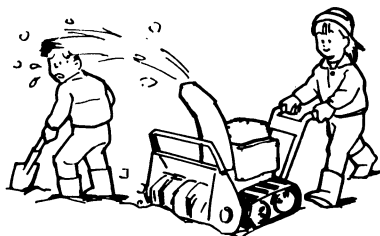


10 傾斜面を横切って除雪しないでください。

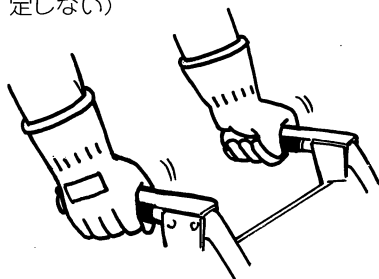
傾斜面で方向を変える場合には十分注意してください。



8 除雪中には窓・人・建物・自動車等に向けて投雪しないよう投雪方向を調整してください。

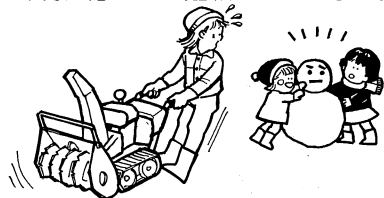


11 ハンドルのレバーは必ず手で操作してください。(ひも等でレバーを固定しない)



9 滑りやすい表面上では変速レバーを“作業時”位置にして高速で除雪機を運転してください。

後進する時は背後を確認し、足元に十分注意をして運転してください。



12 運転後マフラ（排気管）が加熱しているので人が触れない場所に置いてください。



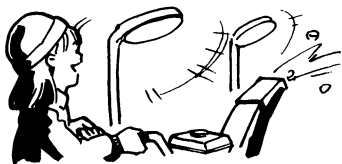
13 シュータ、フロア、オーガ等に詰まった雪は必ずエンジンを停止しメインスイッチのキーを抜いて付属のスノーバー（雪かき棒）を使って取り除いてください。素手では絶対に行なわないでください。



14 除雪機を屋根の上で使用しないでください。



15 早朝、夜間等視界のよくない時に除雪する場合は作業灯を点灯し、かつ十分な照明のもとで行なってください。なお視界が不安定な場合は除雪機を使用しないでください。

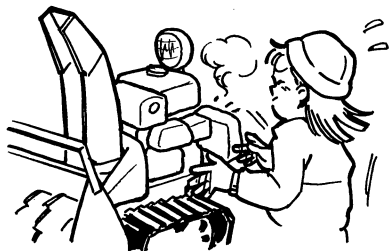


●保管のときは

1 使用前点検・定期点検を必ずしてください。



2 屋内に除雪機を保管する時は、エンジンを冷し除雪機についた雪を取り除いてください。



3 除雪機の長期保管は、取扱説明書の作業内容に基づき保管してください。

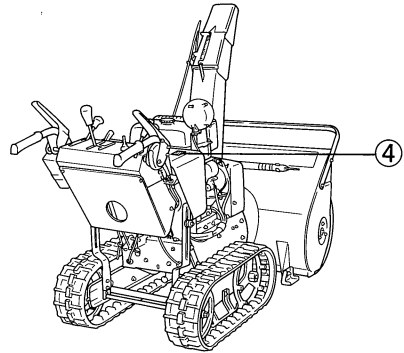
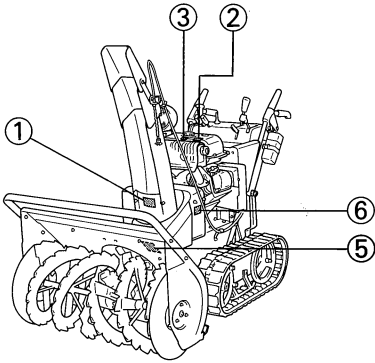


⚠ 重要ラベル

商品の安全な取り扱いのために、本体に貼付されている「ラベル」をお読みいただきラベルの指示に従ってください。

要 点

各重要ラベルは常に手入れを行い、破れたりはがれたりした場合は販売店にご相談して、直ちに新しいものと交換してください。



①

⚠ 警告	
	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転中はのぞいたり、手を入れたりしないでください。 雪を去除くときはかならずエンジンを停止してから、雪かき棒で行ってください。 巻込まれて、ケガをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> 作業中は投雪口を人や建物に向けしないでください。 飛散物によりケガや破損のおそれがあります。
<small>7MN-51782-00</small>	

7MN-51782-00

②

⚠ 警告	
	<p>排気ガスに注意</p> <p>室内および換気の悪い場所での運転は排気ガスが充満し、人体に有害です。</p>
	<p>⚠ 注意</p> <p>マフラー高温注意</p> <p>さわるとやけどをするおそれがあります。</p>
<small>7MN-24156-00</small>	



7MN-24156-00

③

⚠ 危険		<ul style="list-style-type: none"> 給油口に火を近づけると火災になるおそれがあります。 給油中は、エンジンを停止してください。
火気厳禁		
<small>7MN-2415E-00</small>		


7MN-2415E-00

④

危険	
	<ul style="list-style-type: none"> 後進するときはかならず後を確認して、ゆっくり走行クラッチを入れてください ケガをするおそれがあります。
注意	
<ul style="list-style-type: none"> 変速レバーが「N」の中立位置以外では走行クラッチを入れないでください 急発進により、ケガをするおそれがあります。 点検整備をするときは、エンジンを停止してください。 ケガをするおそれがあります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 作業前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。 操作装置位置と機能をよく理解してから、運転してください。7MN24162-00

7MN-24162-00

⑤

危険	
	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転中はのぞいたり、手を入れたりしないでください。 雪を取除くときはかならずエンジンを停止してから、雪かき棒で行なってください。 巻き込まれて、ケガをするおそれがあります。
7MN-51781-00	

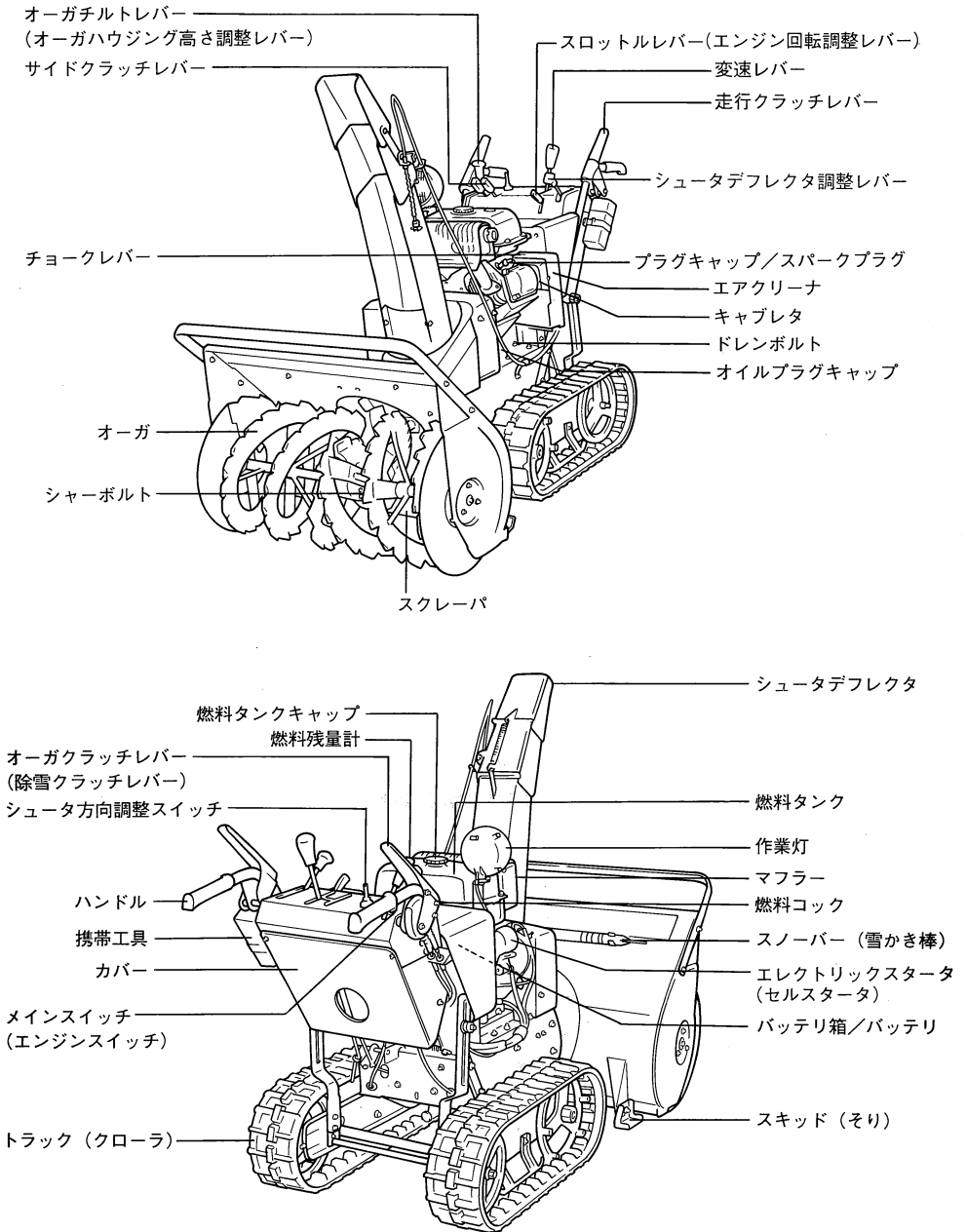
7MN-51781-00

⑥

注意	
	
<ul style="list-style-type: none"> カバー類は常に装着してください。 はずしたままで運転するとケガをするおそれがあります。 	
7MN-5151F-00	

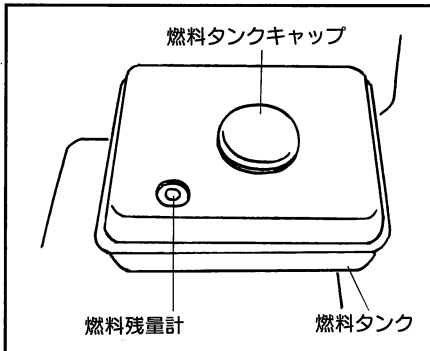
7MN-5151F-00

各部の名称



始動する前に点検しましょう

●燃料（ガソリン）の点検



燃料（ガソリン）の量は燃料残量計もしくは燃料タンクキャップを外して点検します。

燃料は全部なくなる前に、できるだけ早目に補給してください。

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量	YT1080E 6.7ℓ
	YT1290E 6.7ℓ

▲危険

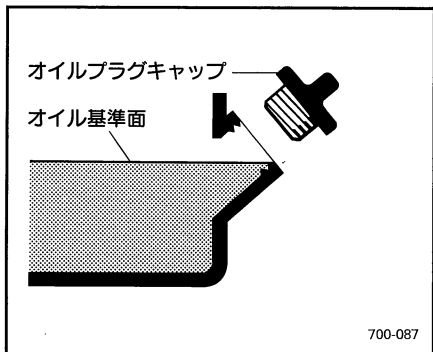
ガソリンは高い引火性と爆発力がありますので、次の事項を必ずお守りください。

- 給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行なってください。
- 給油中は、タバコを吸わないでください。また、他の火種になるようなものを近づけないでください。
- 給油中は、給油ノズルを給油口に当てるなどして静電気が発生しないように注意して行なってください。
- ガソリンは規定量以上（燃料タンクの口元まで）給油しないでください。
- こぼれた時は、ただちに布きれ等で完全にふきとってください。
- 燃料タンクキャップは確実に締めてください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリン蒸気を吸い込んだり、またはガソリンが目に入ったりした場合は、直ちに医者に診てもらってください。
- ガソリンが皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。

▲注意

ガソリンの補給時、燃料タンク内に水・雪・氷が入らないように注意してください。

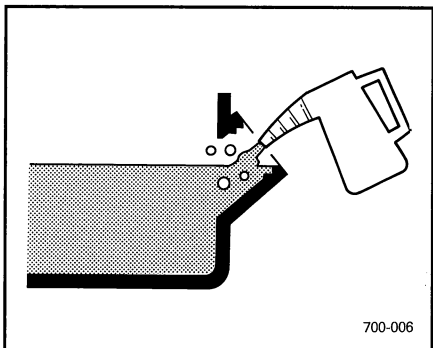
●エンジンオイルの点検



オイルプラグキャップを外しエンジンオイル量がオイル基準面まであるか点検します。

要 点

エンジンオイル量の点検は、除雪機を水平にして行ないます。



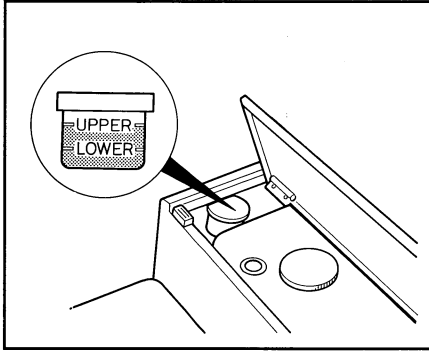
エンジンオイル量がオイル基準面より少ない場合は、ヤマハ4サイクルエンジンオイルを注入口の口元まで給油します。

使用オイル ヤマハ4サイクルエンジンオイル
(API分類SE級エンジンオイル)
(SAE5W-30)

要 点

- エンジンオイルの給油は、除雪機を水平にして行ないます。
- こぼれたエンジンオイルは必ずふきとってください。

●変速機 (H.S.T) オイルの点検



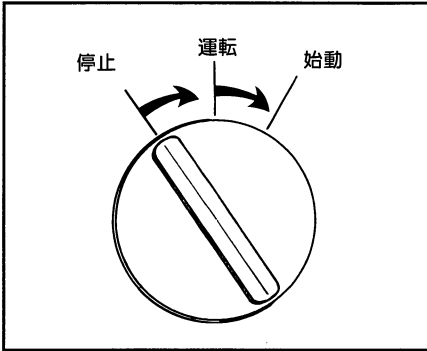
オイル量を点検します。
オイルがタンクのUPPER (上限) と
LOWER (下限) の間にあるか点検し
ます。

要 点

オイル量の点検は、除雪機を水平にし
て行ないます。

各部の取り扱い

●メインスイッチ



点火、始動システムを制御します。

停 止	エンジン停止 (キーが抜けます)
運 転	エンジン始動・運転
始 動	エンジン始動 (セルスタータ)

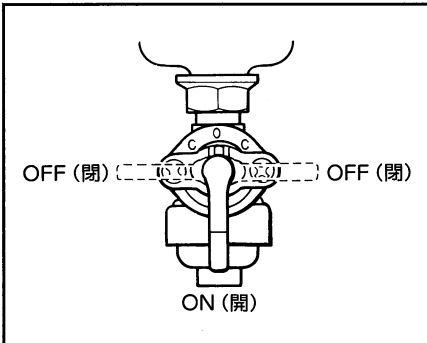
▲注 意

- セルスタータを連続して5秒以上回転させないでください。消費電力が多いためバッテリー上がりの原因となります。
- 使用しない時は、メインスイッチを“停止”にしキーを抜いてください。

要 点

始動の位置でエンジンがかかったらメインスイッチを“運転”の位置に戻して下さい。

●燃料コック



燃料の流れを制御します。

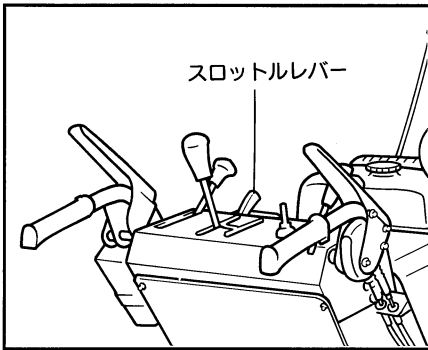
閉 (OFF)	燃料は流れません。 停止および保管時のレバー位置です。
開 (ON)	燃料は流れます。 始動および運転時のレバー位置です。

●ヒューズ

ヒューズはバッテリー箱内のバッテリーの近くに装着されています。

容量 30A

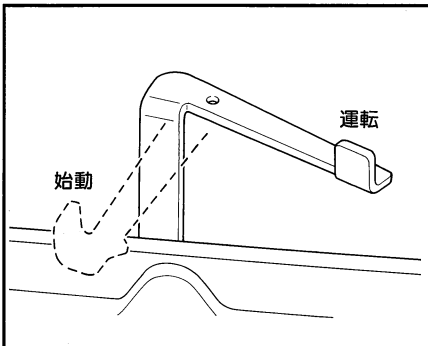
●スロットルレバー



エンジンの回転数を制御します。

始 動 エンジン始動および除雪作業をする時のレバー位置です。

●チョークレバー

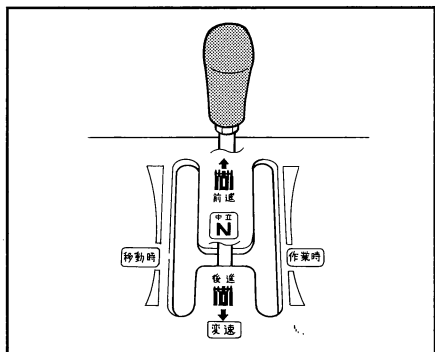


キャブレター通路の開閉を制御します。

始 動 エンジン始動させる時のレバー位置です。

運 転 エンジン運転する時のレバー位置です。

●変速レバー



走行速度を変更する時に操作します。

YT1080E

前進	作業時	0~1.35km/h
	移動時	0~3.49km/h
後進	作業時	0~0.75km/h
	移動時	0~1.8km/h

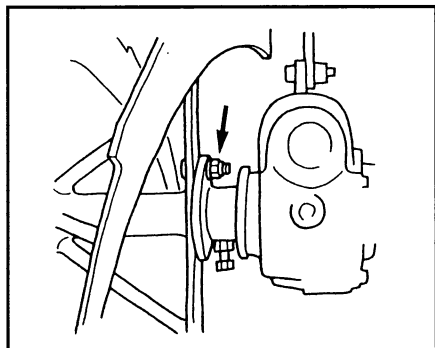
YT1290E

前進	作業時	0~1.35km/h
	移動時	0~3.49km/h
後進	作業時	0~0.75km/h
	移動時	0~1.8km/h

▲注意

- 無段変速機を使用していますのでレバーは中立位置からゆっくり動かし速度調節してください。
- 除雪作業開始時は変速レバーをゆっくり操作し作業に適した速度を選んでください。

●シャーボルト



オーガに異物がかみ込んだり縁石等に接触した場合、オーガのシャーボルトが折損してオーガの回転を停止し、オーガを保護します。

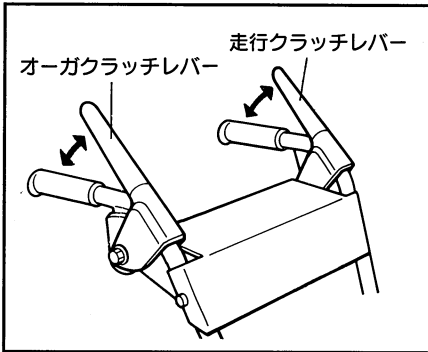
要 点

シャーボルトは純正部品をご使用ください。

▲危険

オーガ回転中はのぞいたり、手を入れたりしないでください。

●クラッチレバー



オーガクラッチレバー

オーガクラッチレバーを握る オーガ部が回転します。

オーガクラッチレバーをはなす オーガ部が停止します。

走行クラッチレバー

走行クラッチレバーを握る 走行します。

走行クラッチレバーをはなす 停止します。

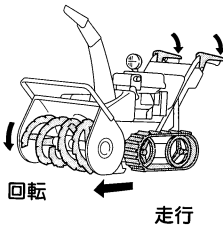
オーガクラッチレバーと走行クラッチレバー

■操作のコツ■

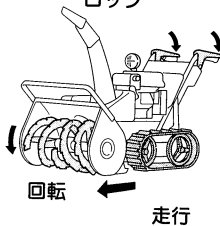
除雪機を移動させる時は走行クラッチレバーを握ります。

走行クラッチレバーを握っている時は一度オーガクラッチレバーを握れば、固定されるためオーガクラッチレバーから手をはなしても走行および除雪ができます。

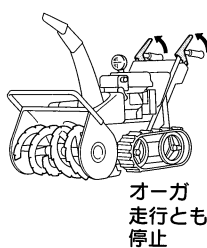
両方握る



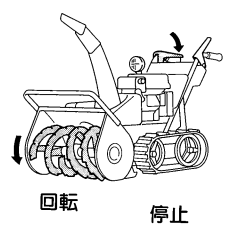
オーガレバー
だけはなす
ロック



両方はなす



オーガレバー
だけ握る



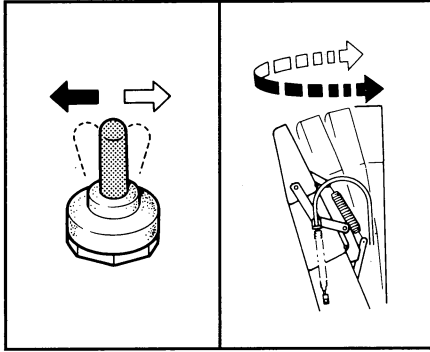
作業可能

作業可能
右手で各部操作可能

緊急停止
作業終了

オーガに入った
雪をとばす

●シュータ方向調整スイッチ

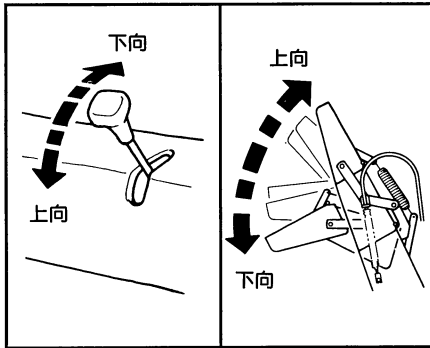


投雪方向を変える時に操作します。

スイッチを 右にたおす
シュータは右回転します。

スイッチを 左にたおす
シュータは左回転します。

●シュータデフレクタ調整レバー

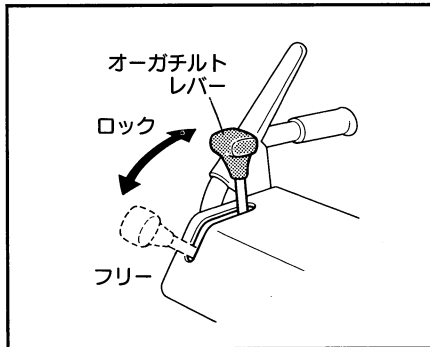


投雪角度を変える時に操作します。

上向 シュータデフレクタが上向きになり雪を遠くにとばします。

下向 シュータデフレクタが下向きになり雪を近くにとばします。

●オーガチルトレバー

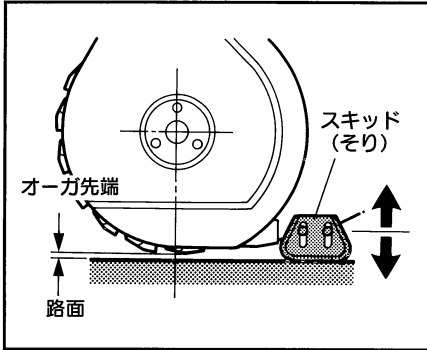


オーガの高さを変える時に操作します。

ロック ハンドルを持ち、オーガと路面高さを選び、レバーで固定します。

フリー ハンドルを上下すると路面とオーガのすきまを自由に変更できます。

●スキッド(そり)

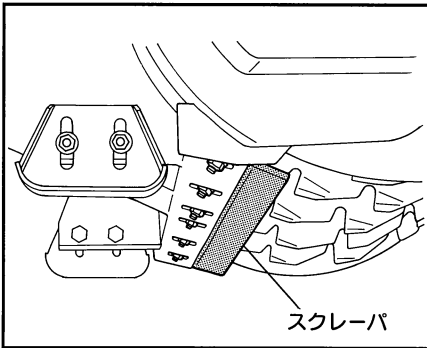


路面とオーガ先端とのすき間を路面の状態に合わせて調整することができます。

工場出荷時 オーガ先端と路面の
すき間が5mm

路面がコンクリート、アスファルト
.....すき間を小さくする
路面が小石、ジャリ道
.....すき間を大きくする

●スクレーパ

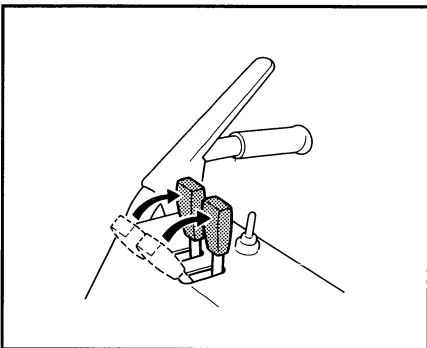


路面とスクレーパとのすき間を路面の状態に合わせて調整することができます。

工場出荷時 スクレーパ先端と路面の
すき間が5mm以上

路面がコンクリート、アスファルト
.....すき間を小さくする
路面が小石、ジャリ道
.....すき間を大きくする

●サイドクラッチレバー



進行方向を変える時に操作します。

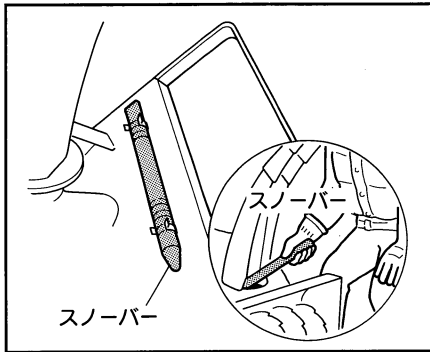
右側レバー 右に曲がる時使います。

左側レバー 左に曲がる時使います。

▲警告

アユミ板の上を移動しているときは、サイドクラッチレバーを絶対に操作しないでください。アユミ板から本機が落ちる場合があります。また途中での走行停止は極力さけてください。

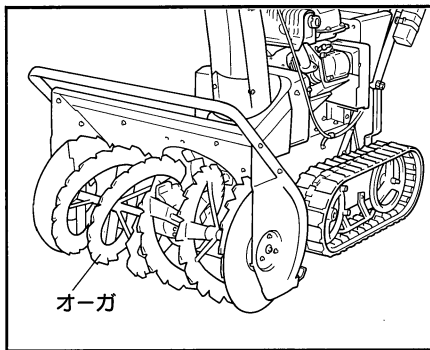
●スノーバー（雪かき棒）



シュータやプロアに詰まった雪を取り除く場合に使用します。

▲警告

- プロア回転中は中をのぞいたり、手を入れたりしないでください。
- エンジンを停止し、メインスイッチのキーを抜いて手袋をはめてから雪を取り除いてください。

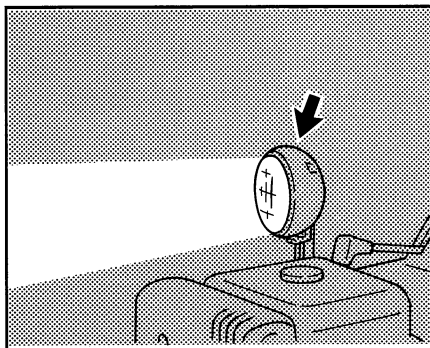


オーガに詰まった雪を取り除く場合に使用します。

▲危険

- オーガ回転中は中をのぞいたり、手を入れたりしないでください。
- エンジンを停止し、メインスイッチのキーを抜いて手袋をはめてから雪を取り除いてください。

●作業灯



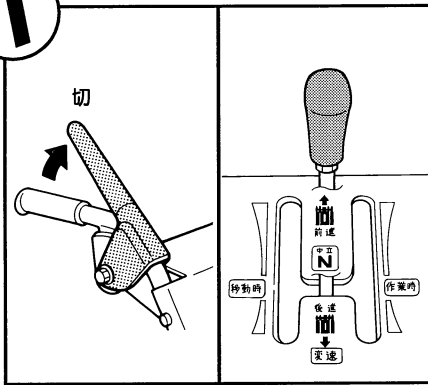
除雪作業や移動を行なう場合に使用します。

電球 12V20W

正しい運転方法

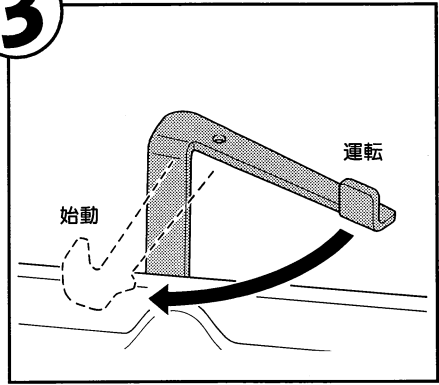
エンジンの始動

1



変速レバーを“中立”の位置にします。
オーガ、走行クラッチレバーが“切”の位置にします。

3

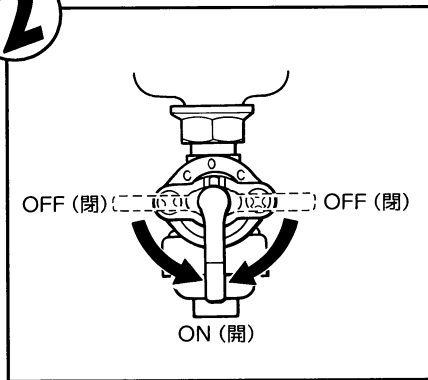


チョークレバーを“始動”にします。

要 点

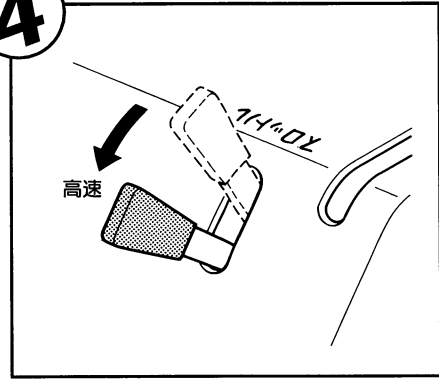
エンジンが暖まっている時は、チョークレバーを始動にする必要はありません。

2



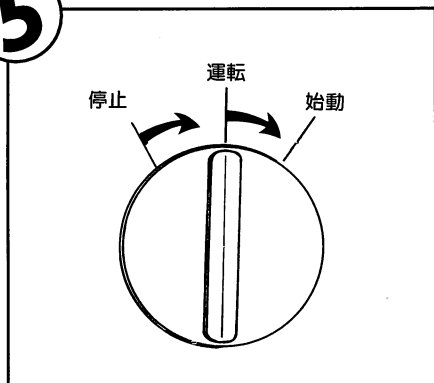
燃料の量を確認します。
燃料コックを“開”にします。

4



スロットルレバーを“高速”にします。

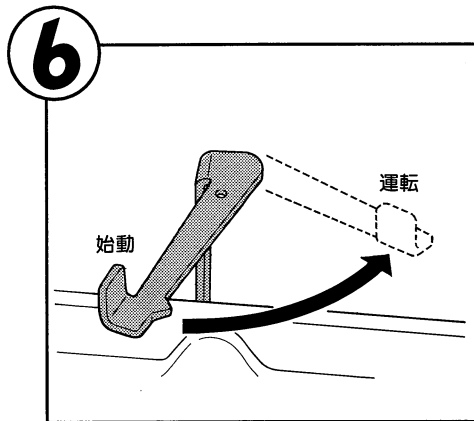
5 エレクトリック始動の場合



メインスイッチを始動の位置まで回しエンジンを始動します。

要 点

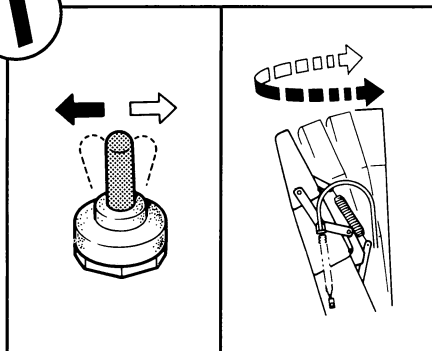
メインスイッチを回して5秒以内でエンジンがかからない時は、バッテリー回復のため10秒くらい休んでからまた回してください。



エンジン回転数が安定後チョークレバーを徐々に“運転”にします。
しばらく暖機運転します。

除雪作業をするとき

1

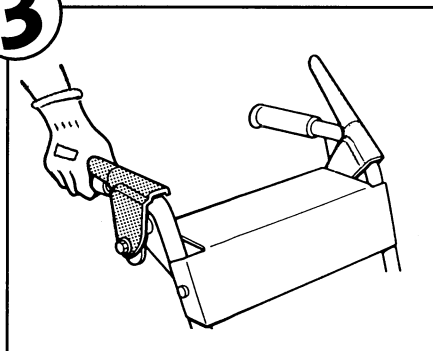


シュータ方向調整スイッチを操作して投雪方向を決めます。

警告

投雪口を人や建物に向けないでください。

3

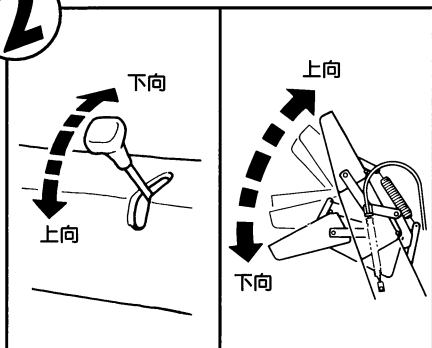


オーガクラッチレバーを握ります。

警告

投雪方向が安全か確認してからレバーを握ってください。

2

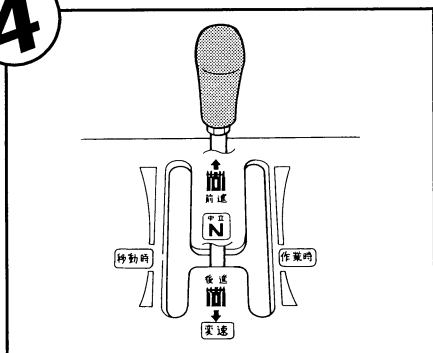


シュータデフレクタ調整レバーを操作して雪を飛ばす距離を調節します。

警告

投雪口を人や建物に向けないでください。

4



作業量に応じて変速レバーで作業に適した速度にします。

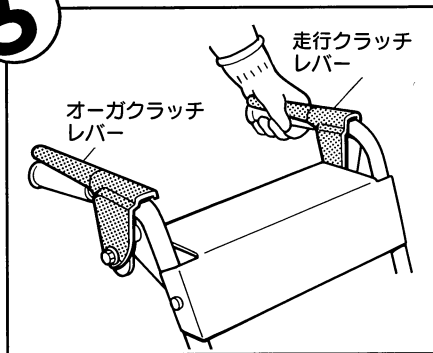
▲注意

変速レバーは初めゆっくりと操作してください。

要 点

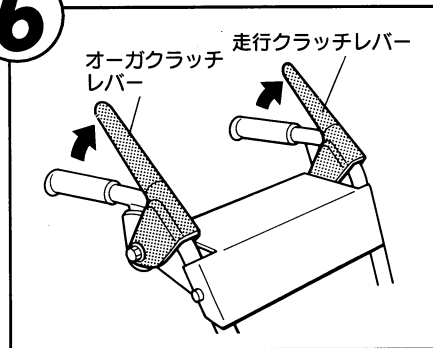
- 除雪作業中は遅めの速度の方がきれいに作業ができます。
- エンジンの回転数が下がる時は、速度が速すぎるので減速してください。

5



オーガクラッチレバーを握ったまま走行クラッチレバーを握るとオーガクラッチレバーは固定され、右手をはなしてもそのまま除雪作業ができます。右手で変速レバー、シュータ方向調整スイッチ、シュータデフレクタ調整レバー、スロットルレバー等が操作できます。

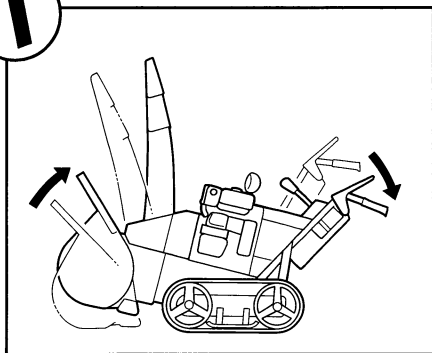
6



左右のハンドルから手をはなすとオーガの回転および除雪機の走行が停止します。

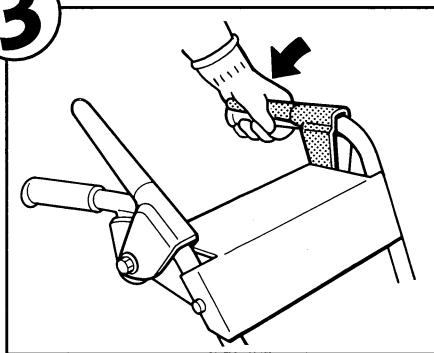
移動をするとき

1



オーガ部を1番上げた位置にオーガチルトレバーで調整します。

3

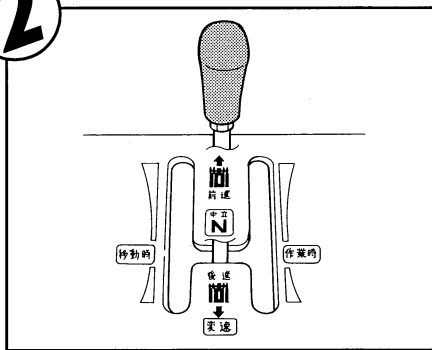


走行クラッチレバーを握ります。

▲注意

走行クラッチレバーはゆっくりと操作してください。

2



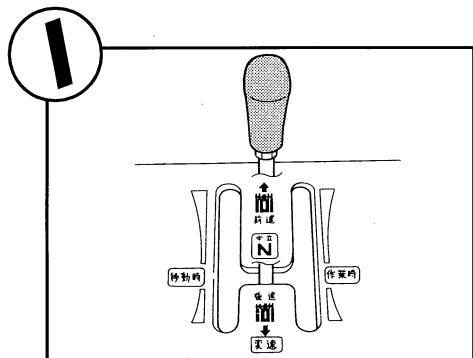
変速レバーを“中立”から最適な速度の位置に入れます。

移動のみの場合は移動側が便利です。

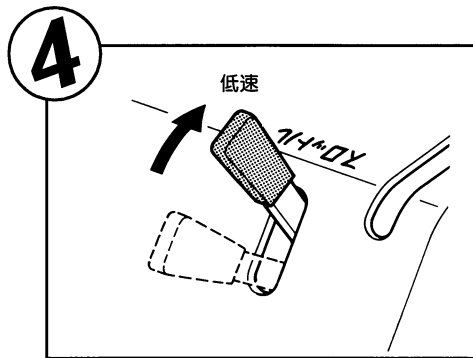
▲注意

変速レバーはゆっくりと操作してください。

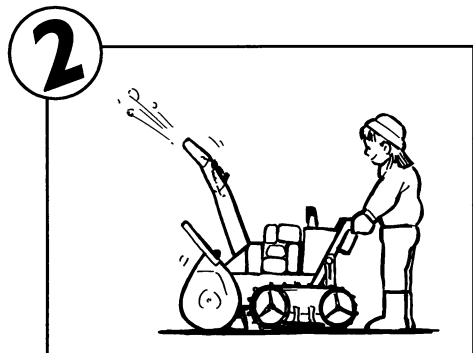
エンジンの停止



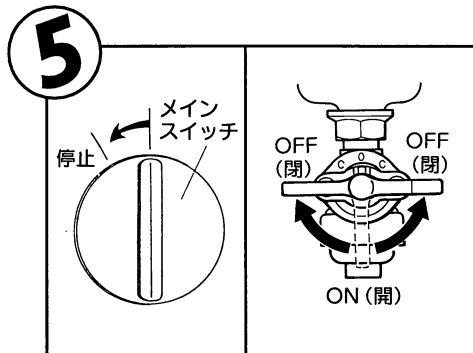
走行クラッチレバーから手をはなします。
変速レバーを“中立”にします。



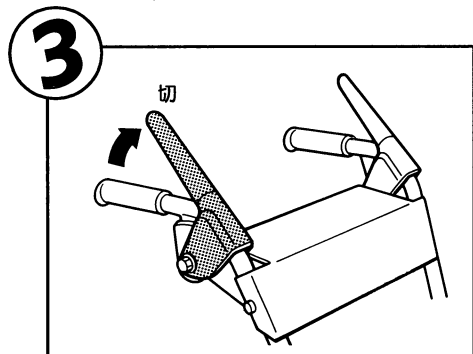
スロットルレバーを“低速”にします。



インペラ凍結防止のため作業終了時インペラを空転させ内部の雪を飛ばしてください。



メインスイッチを“停止”にします。
燃料コックを“閉”にします。



オーガクラッチレバーから手をはなします。

▲警告

- 除雪機は水平な場所に駐車してください。
- やむをえず傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、除雪機の転倒、動き出しのないように、十分注意してください。
- エンジン停止直後はエンジン本体やマフラが熱くなっています。直接触れないでください。

やさしい点検と整備

点検の おすすめ

いつまでも安全・快適に ご使用いただくために

始業点検

お客様の安全と除雪機の故障を未然に防ぐために1日1回お客様自身が次の項目に従って点検を行なってください。
なお点検箇所に変異がある場合は、
販売店で点検・整備をお受けください。

- 作業に十分な燃料の量
- 各オイル量
- 前日の作業で異常が認められた箇所
- ハンドルのゆるみ、がた
- エンジンのかかり具合および異音
- セルスタータの作動具合
- オーガ、走行クラッチの操作具合
- 排気の状態
- シュータデフレクタの作動具合

▲警告

エンジン回転中はエンジンとマフラーは高温になっています。除雪機使用直後の点検や調整は行なわないでください。

定期点検

お客様のお申しつけにより、お買い上げの販売店（またはサービス店）が実施します。
お客様の責任で必ず点検を受けてください。

初回点検………お買い上げ日から1か月目
格納点検………6か月ごと
使用前点検………12か月ごと

▲注意

定期点検を怠ると不具合の原因となる場合があります。また保証を受けられない場合もありますからご注意ください。



携帯工具をお使いください。

この除雪機には携帯工具（サービスツール）が同梱されています。
点検・整備の際にご活用ください。

点検項目

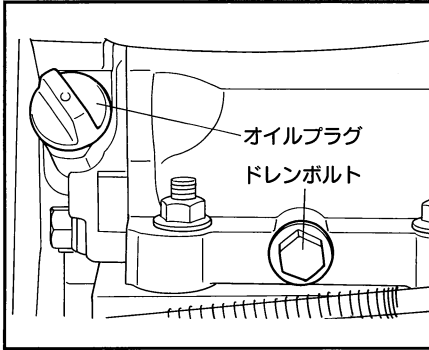
始業点検、定期点検の際に以下の項目を点検します。

点検・整備項目			点検整備時期				備考	
			始業点検	初回(1ヶ月)	格納(6ヶ月)	使用前(12ヶ月)		
か 装 じ 取 り 置	ハンドル	ゆるみ、がた	○	○	○	○		
	スキッド	取付状態、平行度		○	○	○		
	チルト機構	作動状態		○	○	○		
制 装 動 置	メインスイッチ	作動具合		○	○	○		
	オーガブレーキ	作動状態		○	○	○		
除 雪 装 置	操 作 装 置	スロットルレバーの操作具合		○	○	○		
		オーガクラッチの操作具合		○	○	○		
		変速レバーの操作具合		○	○	○		
		変速レバーの調整の状態		○	○	○		
		走行クラッチの操作具合	○	○	○	○		
	シャーボルト	ゆるみ		○	○	○		
	オーガ及び ブ ロ ア	取付状態、曲り			○	○		
	シ ュ ー タ	作動状態		○		○	○	
		シュータデフレクタ調整レバーの操作具合				○	○	
	動 力 伝 達 装 置	ト ラ ッ ク	張り		○	○	○	
ウ オ ー ム ホ イ ール		オイルの交換		○		○		
ミ ッ シ ョ ン		オイル洩れ				○	○	
		オイルの交換		○		○		

点検・整備項目			点検整備時期				備考
			始 業 点 検	初 回 (1 ヶ月)	格 納 (6 ヶ月)	使 用 前 (12 ヶ月)	
電 装 気 置	点 火 装 置	スパークプラグの点検		○	○	○	
	バ ッ テ リ	液量、比重			○	○	
原 本 体		セルスタータの作動具合	○	○	○	○	
		エンジンのかかり具合及び異音	○	○	○	○	
		定格回転数の測定		○	○	○	
		排気の状態	○	○	○	○	
		圧縮圧力				○	
		バルブクリアランス				○	
		シリンダヘッド部のカーボン除去				○	
動 潤 滑 装 置		オイル漏れ				○	
		エンジンオイルの量	○				
		エンジンオイルの交換		○		○	
機 燃 料 装 置		燃料漏れ			○	○	
		キャブレタスロットルバルブ			○	○	
		チョークバルブの状態					
		キャブレタ調整の状態			○	○	
		燃料の量	○				
		フューエルホースの交換					4年毎
そ の マ フ ラ		取付部のゆるみ			○	○	
		マフラの機能				○	
他 の ボ デ ィ		亀裂損傷及び各部の締付け				○	
		各部の給油脂			○	○	
		前日の作業で異常が認められた箇所	○				

点検・交換・調整

●エンジンオイルの交換



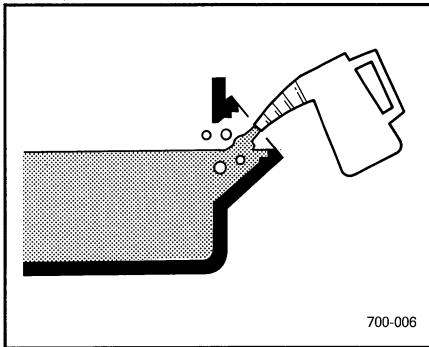
1. エンジンを始動し2~3分暖機運転します。
2. ドレンボルトを外してエンジンオイルを抜きます。

▲警告

エンジン停止直後は、エンジンオイルが熱くなっていますので、すぐに排出しないでください。

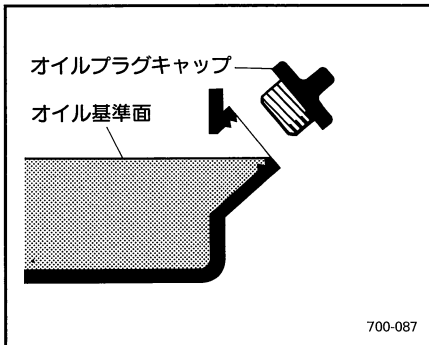
要 点

初回20時間目(燃料4回補給時)その後はシーズン初め毎に交換します。



3. ドレンボルトを取り付けます。
4. オイルプラグキャップを取り外して、新しいオイルをオイル基準面もしくは注入口の口元まで給油します。

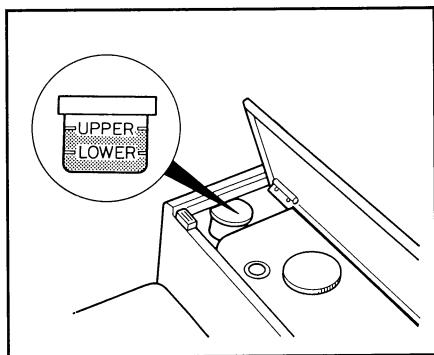
オイル量 1100ml (1100cm³)
使用オイル ヤマハ4サイクルオイル
(API分類SE級エンジンオイル)
SAE 5W-30



要 点

- オイルの給油は除雪機本体を水平状態で行ってください。
- こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

●変速機 (H.S.T) オイルの補給



変速機オイルタンクのLOWER (下限) レベル以下になったらオイルをUPPER (上限) レベルまで補給してください。

使用オイル ディーゼルエンジンオイル
CD級以上 10W-30

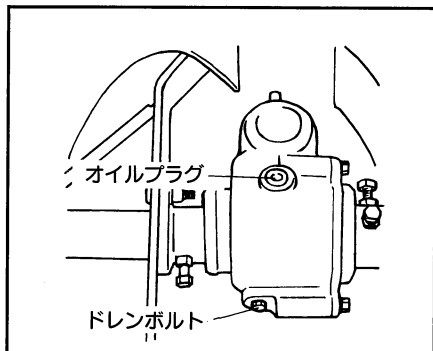
▲注意

補給時タンクの中にゴミ等の異物が入らないように十分注意してください。

要 点

変速機 (H.S.T) オイルの補給は、除雪機を水平にして行ないます。

●ウォームケースオイルの交換



1. エンジンを始動し2～3分暖機運転します。
2. ドレンボルト・オイルプラグを外してオイルを抜きます。

▲警告

エンジン停止直後は、オイルが熱くなっていますので、すぐに排出しないでください。

要 点

初回20時間目（燃料4回補給時）その後はシーズン初め毎に交換します。

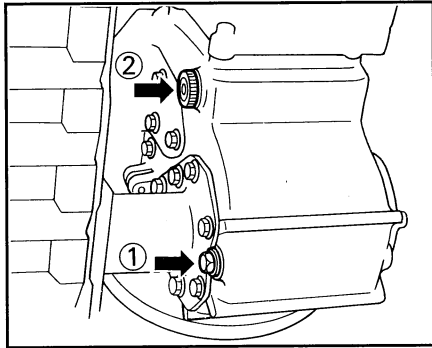
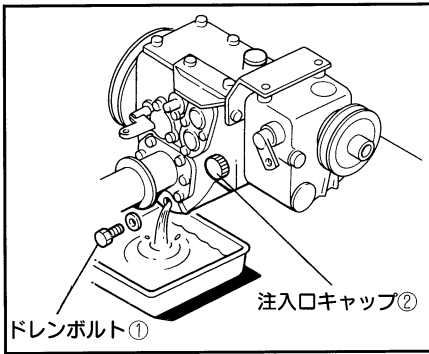
3. ドレンボルトを取付けます。
4. オイルプラグ注入口よりオイルを給油します。

オイル量 80mℓ (80cm³)

使用オイル SAE 10W-30

5. ドレンボルトを取り付けます。

●ミッションオイルの交換



ミッションオイルの交換は、
初回—20時間運転
以降—1年毎
に行なってください。

1. エンジンを始動し2～3分暖機運転します。
2. バッテリーの⊕⊖端子を外します。
3. 燃料を抜きます。
4. ドレンボルト①を外しオイルを抜きます。
5. ドレンボルト①を取付けます。
6. 本機を立てます。
7. 注入口キャップ②をはずし規定量を注入します。
8. 注入口キャップ②を取付けます。
9. 本機を水平に戻します。

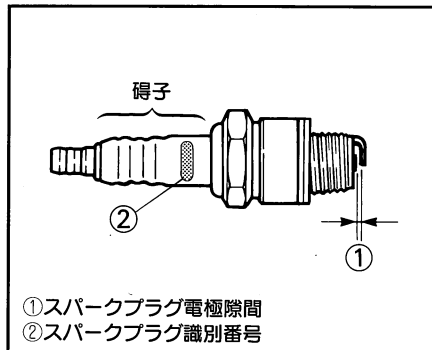
使用オイル

主変速機	ディーゼルエンジンオイル
(H.S.T)	CD級以上
副変速機	SAE 10W-30

オイル量

主変速機	0.5 ℓ (500cm ³)
(H.S.T)	
副変速機	2.0 ℓ (2000cm ³)

●スパークプラグの点検・清掃



スパークプラグは、点検が簡単なエンジンの重要な構成部品です。

スパークプラグの状態は、エンジン性能に影響を与えます。

スパークプラグは、徐々に劣化しますので、定期的に外して点検を行なう必要があります。

スパークプラグを取り外し電極付近のカーボンを落とします。

スパークプラグの焼け具合を見ます。通常はキツネ色に焼けますが黒くくすぶっていたり白く焼けていた時はエアクリーナを点検します。

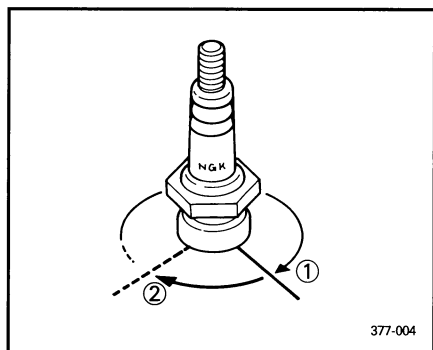
電極隙間を点検します。

スパークプラグ NGK BPR4ES
電極隙間 0.7~0.8mm

▲警告

スパークプラグの脱着の際は、碍子を損傷させないように注意してください。

碍子が損傷すると、電気がもれて火災等を誘発する恐れがあります。

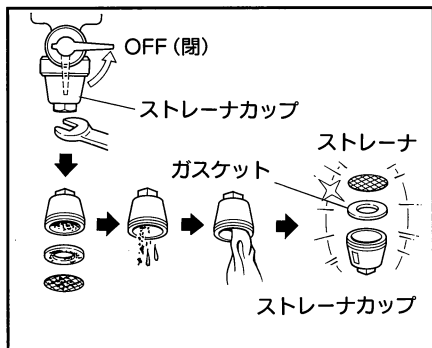
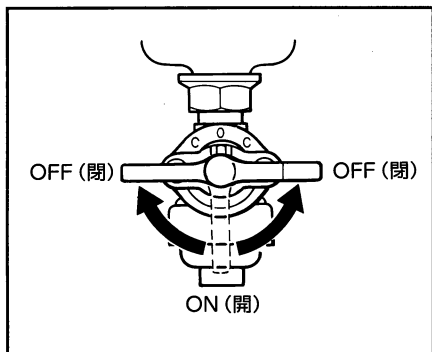


要 点

新しいスパークプラグを取り付ける際にトルクレンチが準備できない時は、指でいっぱいに締め込んだ後、プラグレンチを使って1/4~1/2回転更に締め込んでください。

できるだけ早い時期に、トルクレンチを使って正規の値で締めてください。

●フューエルストレーナの清掃



1. 燃料コックをOFF (閉) にします。

2. ストレーナカップを取り外します。

要 点

ストレーナカップにゴミがある場合は定期点検時期より早めに清掃してください。

3. ストレーナカップ、ストレーナをガソリンで洗浄します。

警告

喫煙中や裸火の近くで燃料や溶剤の使用や近づくことは絶対にしないでください。

4. ガスケットを点検します。破損している場合は交換します。

5. ストレーナ、ガスケットおよびストレーナカップを再び取り付けます。

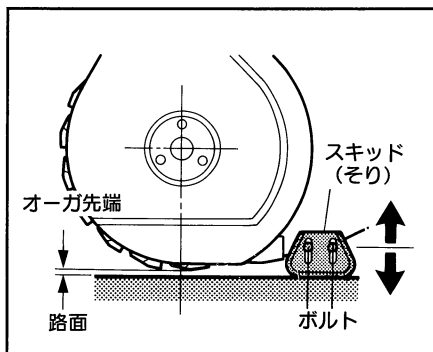
警告

燃料フィルタの再組付は、注意深く行なってください。

組み付けが悪いと燃料もれをおこし、火災や爆発の原因になる恐れがあります。

6. 取付後は燃料漏れがないことを確認します。

●スキッド(そり)の調整

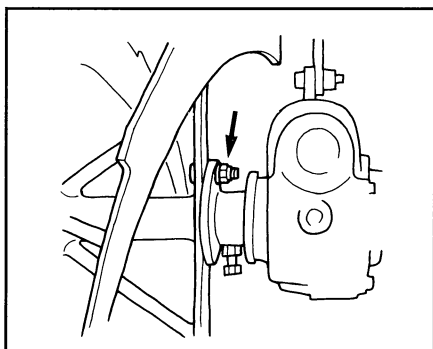


1. エンジンを停止します。
2. スキッドを取り付けているボルトをゆるめます。
3. スキッドを上下に移動させます。
4. スキッドは地面に対して平行に取り付けてください。

要 点

調整は必ず平坦な場所で行なってください。

●シャーボルトの交換

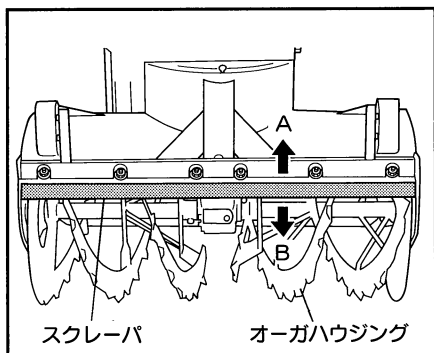


1. エンジンを停止します。
2. オーガケース内の雪、異物等をスノーバー(雪かき棒)で取り除きます。
3. シャーボルトを交換します。

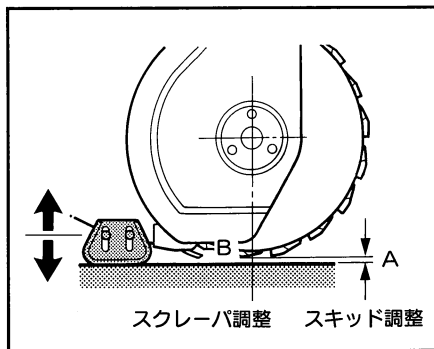
要 点

- シャーボルトのナットはしっかり締め付けてください。ナットの締め付け方がゆるいと、シャーボルトは損傷しやすくなります。
- シャーボルトは純正部品をご使用ください。

●スクレーパの調整



1. ナット (6本) をゆるめます。
2. スクレーパを動かし調整します。
スクレーパをA方向へ動かすと路面との隙間が少なくなり、B方向へ動かすと隙間が多くなります。



スクレーパとスキッドの関係

路面とのすき間基準 AよりBは大

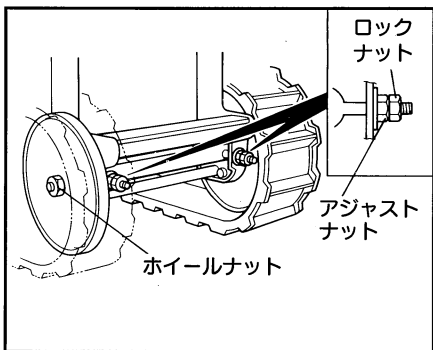
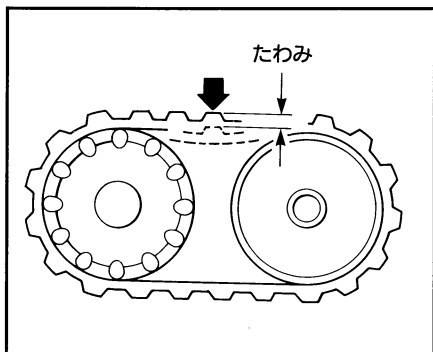
スキッド調整は35ページを参照してください。

3. ナット、ボルトを締め付けます。

要 点

ナット締付けのときスクレーパの長穴はオーガハウジングの長穴と位置を合せてから行ってください。

●トラック（クローラ）の張りの点検・調整



トラック（クローラ）の張りが適正でないとスリップなどの原因になり、思うように除雪作業ができません。

点検

1. トラック（クローラ）の中心部を手で10kg程度の力で押してたわみを点検します。
たわみ規定量 20～30mm/10kg

要 点

トラック（クローラ）の摩耗、傷の点検も同時に行なってください。

調整

規定値以外の場合は調整します。

1. ホイールナットをゆるめます。
2. ロックナットをゆるめ、アジャストナットで張りを調整します。

アジャストナット	張りは
をゆるめる	ゆるくなる

アジャストナット	張りは
を締め込む	きつくなる

要 点

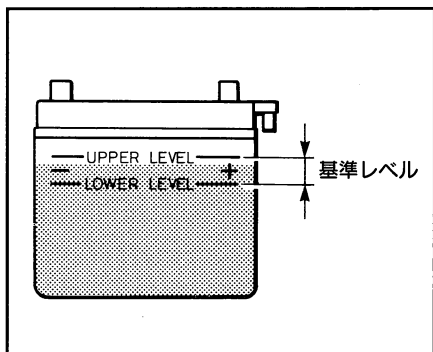
アジャストナットは左右均等に締め付けてください。

3. 調整後ホイールナットを締め付けます。

要 点

点検・調整は必ず平坦地で行なってください。

● バッテリー液量の点検



1. バッテリーの液面が基準レベル内にあるか確認します。
2. 液面が基準レベルより下がっている場合は蒸留水を補給します。
3. キャップの排気孔につまりがないか確認します。

比重 1.28

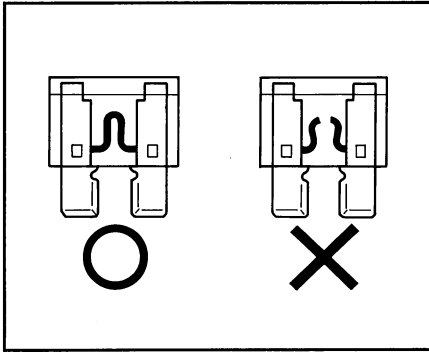
▲ 警告

- バッテリーの取り扱いにご注意ください。
- バッテリーは引火性ガスを発生しますので、取り扱いを誤ると爆発や火傷をすることがあります。(特に保守・点検・充電・ブースターケーブル使用時には、危険のないように取り扱ってください。)
 - 火気厳禁……ショートやスパーク、たばこ等の火気を近づけないでください。〈爆発〉
 - 通風のよい所で……閉めきった場所での使用や充電は危険です。〈爆発〉
 - バッテリー液は希硫酸……皮膚・目・衣服につくと危険です。〈火傷・失明等〉
- 規定以外のバッテリーは使用しないでください。
- 応急手当
 - 皮膚・衣服についた時は多量の水で洗い流してください。
 - 目に入った時はただちに多量の水で十分洗い医師の治療を受けてください。

要 点

定期的に比重を測定しバッテリーの状態を確認してください。

●ヒューズの交換



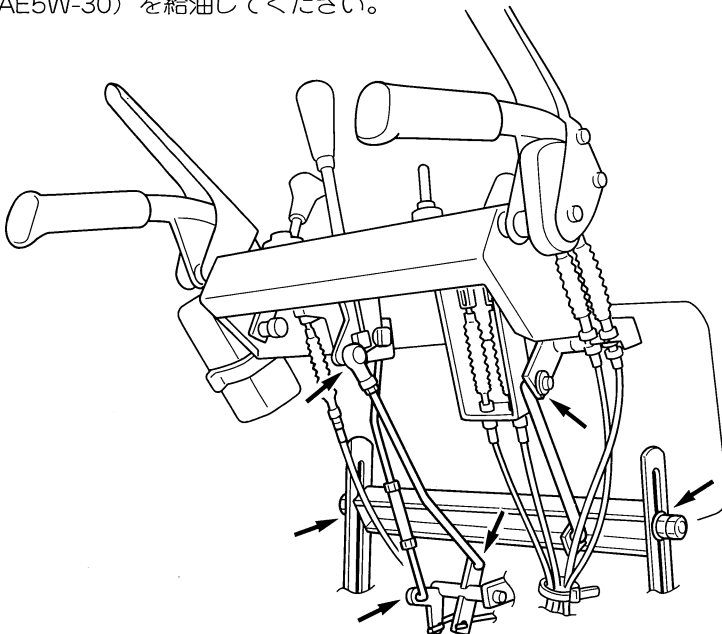
切れたときは新品のヒューズと交換します。なお交換してもすぐに切れる場合は原因を調べ、修理してから新品と交換してください。

▲注意

- 容量の違うヒューズやヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱、焼損の原因になるので絶対に使用しないでください。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けることは避けてください。

●各部の給油

1か月または10時間ごとに各操作部の軸部（矢印の箇所）にグリスまたはオイル（SAE5W-30）を給油してください。

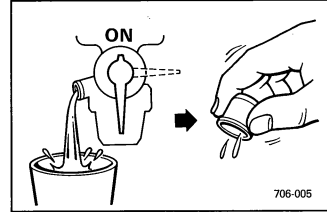
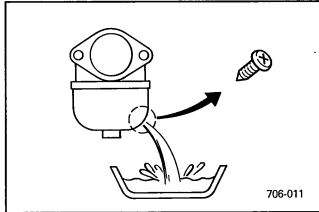


次のシーズンに向けてそなえましょう

長期間にわたってご使用されない時は次のことを行なって除雪機を保管しましょう。

燃料

- 燃料タンクから燃料を完全に抜いてください。
- キャブレタ内やパイプ内にある燃料はエンジンをかけて使い切るか完全に抜いてください。



▲注意

長期間、キャブレタに燃料（ガソリン）が溜ると、燃料（ガソリン）が劣化し、エンジンの始動不可、不良の原因となりますので必ず上記の作業をしてください。

スパークプラグ

- スパークプラグをはずし、オイル（SAE 5W-30）を3～5ccシリンダ内に入れて、オイルをエンジン内に回してください。その後スパークプラグを取り付けてください。

サビ

- すべての摺動部分の破損・キズ・サビ等を点検してください。
- オーガ・オーガハウジングのサビやすい金属部分にはオイルを塗布してサビ止めを行なってください。

バッテリー

- 端子から配線ははずしてください。
- 6か月に1度補充電してください。
- 充電については販売店にご相談ください。

グリス

- 各給油箇所はすべてオイルまたはグリスを給油してください。

カバー

- きれいな乾燥した場所にカバーをかけて保管してください。

仕様諸元

		販売名称	YT1080E	YT1290E	
寸法・重量	全長		1640mm	1640mm	
	全幅		830mm	930mm	
	全高		1340mm	1340mm	
	重量		200kg	228kg	
除雪性能	除雪能力		60トン/時間	70トン/時間	
	除雪幅		800mm	900mm	
	除雪高さ		570mm	570mm	
	投雪距離		18m	18m	
除雪機構	除雪機構		2ステージオーガプロア	2ステージオーガプロア	
	シュータ回転角度		230°	230°	
走行装置	走行装置		エンドレスゴムクローラ	エンドレスゴムクローラ	
	変速装置		H.S.T+副変速	H.S.T+副変速	
	走行速度	前進		0~1.35km/h	0~1.35km/h
				0~3.49km/h	0~3.49km/h
		後進		0~0.75km/h	0~0.75km/h
				0~1.8km/h	0~1.8km/h
原動機	エンジン種類		空冷4サイクル傾斜型OHV単気筒ガソリン	空冷4サイクル傾斜型OHV単気筒ガソリン	
	総排気量		301mℓ (301cm ³)	357mℓ (357cm ³)	
	最大出力		7.4kW/10PS/4000r/min	8.8kW/12PS/4000r/min	
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン	自動車用無鉛ガソリン	
	燃料タンク容量		6.7ℓ	6.7ℓ	
	潤滑方式		強制飛沫式	強制飛沫式	
	エンジンオイル		ヤマハ4サイクルエンジンオイル 1100mℓ (1100cm ³) (SAE5W-30)	ヤマハ4サイクルエンジンオイル 1100mℓ (1100cm ³) (SAE5W-30)	
	変速機 オイル		主：ディーゼルエンジンオイル CD級以上 副：SAE 10W-30	主：ディーゼルエンジンオイル CD級以上 副：SAE 10W-30	
	始動方式		エレクトリック (セル式)	エレクトリック (セル式)	
サービスデータ	スパークプラグ		BPR4ES (NGK)	BPR4ES (NGK)	
	スパークプラグギャップ		0.7~0.8mm	0.7~0.8mm	
	ウォームケースオイル		80mℓ (80cm ³) (10W-30)	80mℓ (80cm ³) (10W-30)	
	バッテリー形式		GM18Z-3A	32A-19R	
	バッテリー容量		12V-20Ah	12V-24Ah	
	トラック(クローラ)の張り具合		10kgの力で押して 20~30mm	10kgの力で押して 20~30mm	

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

お客さまご相談窓口

お買いあげいただきました除雪機に関してのお問い合わせは、ご購入いただいた販売店へお願いいたします。

お気軽にご用命ください。

転居などでご購入いただいた販売店へのご相談ができない場合は、ヤマハ除雪機販売店または<ご相談窓口>へお気軽にお申しつけください。

<ご相談窓口>

ヤマハ発動機株式会社
カスタマー コミュニケーション センター

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

 **0120-090-819**

受付時間 月曜～金曜

(祝日、弊社所定の休日等を除く)

9:00～12:00 13:00～17:00

- 土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。
その他夏期など休業させていただく場合があります。
- 区画整理、電話局の新增設などにより、住所、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

2019年4月現在

索引 (さくいん)

記号

- △危険シンボルマーク……………表紙裏
- △危険ラベル……………P5,6
- △警告シンボルマーク……………表紙裏
- △警告ラベル……………P5
- △注意シンボルマーク……………表紙裏
- △注意ラベル……………P5,6

あ行

- 安全にお使いいただくために……………P1
- 移動をするとき……………P23
- ウォームケースオイルの交換……………P31
- 運転中には……………P2
- 運転前には……………P1
- エアクリーナ……………P7
- エレクトリックスタータ……………P7
- エンジンオイルの交換……………P29
- エンジンオイルの点検……………P9
- エンジン回転調整レバー……………P7
- エンジンスイッチ……………P7
- エンジンの始動……………P19
- エンジンの停止……………P24
- オイルプラグキャップ……………P7
- オーガ……………P7
- オーガクラッチレバー……………P7,14
- オーガチルトレバー……………P7,15
- オーガハウジング高さ調整レバー……………P7
- お客さまご相談窓口……………P43
- おねがい……………表紙裏

か行

- 格納点検……………P26
- 各部の給油……………P39
- 各部の取り扱い……………P11
- 各部の名称……………P7
- カバー……………P7
- キャブレタ……………P7
- クラッチレバー……………P14
- クローラ……………P7
- クローラの張りの点検・調整……………P37
- 携帯工具……………P7,26
- 交換……………P29

さ行

- サイドクラッチレバー……………P7,16
- 作業灯……………P7,17
- 始業点検……………P26
- 始動する前に点検しましょう……………P8
- シャーボルト……………P7,13
- シャーボルトの交換……………P35
- シュータ方向調整スイッチ……………P7,15
- シュータデフレクタ……………P7
- シュータデフレクタ調整レバー……………P7,15
- 重要ラベル……………P5
- 使用前点検……………P26
- 仕様諸元……………P41
- 初回点検……………P26
- 除雪クラッチレバー……………P7
- 除雪作業をするとき……………P21
- スキッド (そり)……………P7,16
- スキッド (そり) の調整……………P35
- スクレーパ……………P7,16
- スクレーパの調整……………P36
- スノーバー (雪かき棒)……………P7,17
- スパークプラグの点検・清掃……………P33
- スパークプラグ……………P7
- スロットルレバー……………P7,12
- セルスタータ……………P7
- 走行クラッチレバー……………P7,14
- そり……………P7,16

た行

- 正しい運転方法……………P19
- 長期格納……………P40
- チョークレバー……………P7,12
- 調整……………P29
- 定期点検……………P26
- 点検……………P29
- 点検項目……………P27
- 点検のおすすめ……………P26
- トラック……………P7
- トラックの張りの点検・調整……………P37
- ドレンボルト……………P7

な行

燃料コックP7,11
燃料残量計P7
燃料タンクP7
燃料タンクキャップP7
燃料（ガソリン）の点検P8

は行

バッテリーP7
バッテリー箱P7
バッテリー液量の点検P38
ハンドルP7
ヒューズP12
ヒューズの交換P39
フューエルストレーナの清掃P34
プラグキャップP7
変速機（H.S.T）オイルの点検P10
変速機（H.S.T）オイルの補給P30
変速レバーP7,13
保管のときはP4

ま行

マフラーP7
ミッションオイルの交換P32
メインスイッチP7,11

や行

やさしい点検と整備P26
雪かき棒P7,17
要点シンボルマーク表紙裏



正しい操作で安全除雪

- 雪詰まりの際や点検・整備時は、必ずエンジンを停止させてから。
- 回転部・投雪部には手・足・顔などを絶対に近づけない。
- 投雪方向は人・窓・車など、常にまわりの状況を確認して。
- 早朝や深夜の除雪は、ご近所の迷惑を考えて。
- 燃料の取扱いには十分ご注意ください。

その他、ご使用になる前には必ず取扱説明書をよく読んで、安全で正しい操作を心がけましょう。

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新貝2500
特機事業部

再生紙を使用しています

97.04-X1D